

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
（分担研究報告書）

全国がん登録の利活用に向けた学会研究体制の整備とその試行、臨床データベースに基づく
臨床研究の推進、及び国民への研究情報提供の在り方に関する研究

研究分担者 岡本高宏・東京女子医科大学乳腺・内分泌外科・教授

研究要旨（甲状腺がん臨床データベースの現状と将来）

甲状腺がん登録事業はNCDシステムを利用して継続している。2018年には甲状腺腫瘍診療ガイドラインを改訂し、その出版や学会活動を通じて普及に努めてきた。甲状腺がん登録は甲状腺腫瘍診療ガイドラインと相俟ってわが国の甲状腺がん診療の質向上に資するものとなる。NCDシステムを活用したデータ分析によってそれを実現できているのかを検証するとともに、新しいエビデンスの創出が今後の急務である。

A．研究目的

- (1) 甲状腺がん登録作業を推進する。
- (2) 甲状腺がん登録の現状を把握する。
- (3) わが国の甲状腺腫瘍診療ガイドラインの普及を図る。

B．研究方法

- (1) NCD事務局と連携し、甲状腺がん登録の整備を図る。
- (2) NCD事務局と連携し、甲状腺がん登録のデータを解析し、報告する。
- (3) 2018年に改訂した甲状腺腫瘍診療ガイドラインの英語版を作成し、学術誌にて公開する。甲状腺癌診療に関わる新しいエビデンスを創出する、学会活動を通じてガイドラインを周知する、

C．研究結果

- (1) NCD事務局と協議を行い、予後情報システムの追加構築に向けて検討を進めている。
- (2) - 1: NCD事務局と連携し、甲状腺がん登録データのアンニュアルレポートを作成している。
- (2) - 2: わが国の甲状腺腫瘍診療ガイドラインがどの程度普及し、実践されているかを検証する目的で研究を準備している。
- (3) - 1: 甲状腺腫瘍診療ガイドライン英語版を作成し、日本内分泌学会英文誌にて公開した（発表論文1）。
- (3) - 2: わが国の放射性ヨウ素内用療法の現状を自験例で分析し、報告した（発表論文2）。また、甲状腺微小癌における患者視点のアウトカム調査を行い、報告した（発表論文3）。
- (3) - 3: 日本外科学会のセミナーと日本甲状腺学会の教育講演でガイドラインに基づ

く甲状腺腫瘍の標準的治療方針を解説した（学会発表1,2）。

(3) - 4: 甲状腺腫瘍診療ガイドラインの開発過程を振り返り、今後の課題を論じた（学会発表3、論文発表4,5）とくに、大規模データを用いた診療ガイドラインの検証作業が重要であることを指摘した。

D．考察

わが国の甲状腺がん診療向上には適切な診療ガイドラインの普及が不可欠である。そしてその成果を確認するにはがん登録の推進と予後調査システムの確立が急務である。前者はその公開と学会における周知活動を通じて達成できつつある。後者は基本となる登録システムはNCDに実装済みであり、現在そのデータの利活用を実行中である。

E．結論

診療ガイドライン初版公開後10年を経て要点となる指針は普及できつつある。登録データを用いた検証作業を継続してゆく必要がある。

F．健康危険情報

特になし

G．研究発表

1. 論文発表
原著

1. Ito Y, Onoda N, Okamoto T. The revised clinical practice guidelines on the management of thyroid tumors by the Japan Associations of Endocrine Surgeons: Core questions and recommendations for treatments of thyroid cancer. Endocr J 2020 Apr 9.

- doi: 10.1507/endocrj.EJ20-0025. [Epub ahead of print]
2. Abe K, Ishizaki U, Ono T, Horiuchi K, Kanaya K, Sakai S, Okamoto T. Low-dose radioiodine therapy for patients with intermediate- to high-risk differentiated thyroid cancer. Ann Nucl Med 2020;34:144-151.
 3. Yoshida Y, Horiuchi K, Okamoto T. Patients' view on the management of papillary thyroid microcarcinoma: active surveillance or surgery. Thyroid 2020 Feb 6. doi: 10.1089/thy.2019.0420. [Epub ahead of print]

総説

4. 岡本高宏、小野田尚佳、伊藤康弘. 甲状腺腫瘍診療ガイドライン 2018年版：開発の経緯. 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 2019;36:8-11.
5. 吉田有策、堀内喜代美、岡本高宏. 診療ガイドラインによる甲状腺乳頭癌治療の国際比較 術後補助療法 日本内分泌・甲状腺外科学会雑誌 2019;36:221-224.

2. 学会発表

1. 岡本高宏. 甲状腺癌診療ガイドラインのエビデンスをみる(教育講演). 第62回日本甲状腺学会学術集会. 2019.10.10-12. 前橋
2. 岡本高宏. 甲状腺癌に対する標準的治療方針(適塾セミナー)第119回日本外科学会定期学術集会. 2019.4.18-20. 大阪
3. 岡本高宏、小野田尚佳、伊藤康弘. 甲状腺腫瘍診療ガイドライン：診療ガイドラインの課題と未来(ワークショップ)第119回日本外科学会定期学術集会. 2019.4.18-20. 大阪

H. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他